

小田原・県西エリアにおける脱炭素型地域交通モデル構築を通じた地域循環共生圏構築事業

- 応募事業： 脱炭素交通 【設備等導入】
- 代表事業者：株式会社REXEV
- 事業実施地：神奈川県小田原市および箱根等県西地域
- 共同事業者：神奈川県小田原市、湘南電力株式会社

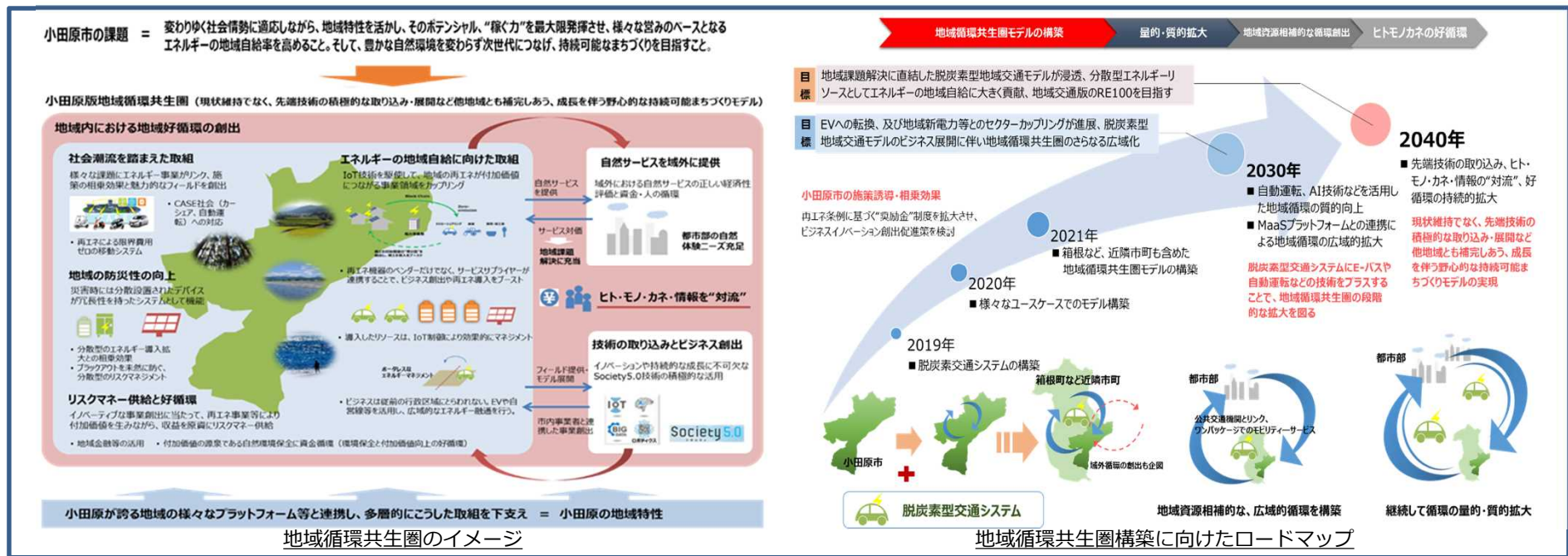
○地域課題

小田原市の人口はピーク時であった2000年以降、減少傾向が続いている。また、小田原駅における乗車人数や観光客数は近年上昇基調にあるものの、大半は日帰り客となっており、観光消費の拡大におけるボトルネックになっている。そのような現状の中、長期的に解決を目指す課題は、地域特性を活かし、そのポテンシャル、“稼ぐ力”を最大限発揮させながら、様々な営みのベースとなるエネルギーの地域自給率を高め、さらに近隣地域と各々の持つ資源を循環することによる相乗効果を構築し、もって持続可能なまちづくりを目指すこととなる。

○本事業を活用した地域課題の解決方策

本事業では、単なる地域へのEVのインストール・転換ではなく、地域特性や地域資源も踏まえつつ、滞在型リゾート施設、福祉施設、地域事業所、商業施設、公共施設等でのカーシェアリングと再エネ自給率を最大化させるためのインテリジェントな制御システムからなる地域型脱炭素交通システムを構築する。それにより、地域観光資源のアクセス・リンクの創出、交通渋滞の分散、再エネ導入の好循環の創出、地域防災性の向上、関係人口の増加を図り、地域課題の解決につなげる。

○目指す地域循環共生圏のイメージ



○事業概要

代表事業者および共同実施者が協力して、本資料左下部記載の設備導入を行い、以下Aを実施することで、以下Bを達成して地域課題の解決を行う。それにより地域循環共生圏の構築に貢献する。事業実施においては長期持続的な取り組みとするため、小田原市を事務局、県西地域自治体や関連事業者を参加者とした事業推進連絡会議を組成し、連携を行いながら進める。

【A：実施内容】

- ① 自治体・地域法人・滞在型リゾート・地域小売店等と協力した地方型EVカーシェアリングの実施（小田原市、ヒルトン小田原、鈴廣かまぼこ等と協力予定）
- ② 電気と交通のセクターカップリングサービスの提供
- ③ 電気自動車バッテリーの充放電遠隔制御
- ④ 電気自動車バッテリーの非常時活用方法の整備

【B：達成する内容（解決する地域課題）】

- ① 電気自動車シフト、車両台数減少による運輸部門の脱炭素化
- ② 需要創出による再生可能エネルギー開発の促進
- ③ 電気自動車バッテリー活用による再生可能エネルギー自給率の向上
- ④ 渋滞緩和および地域資源への新たなアクセス方法の創出
- ⑤ 電気自動車バッテリーの非常時電源活用による防災機能の強化
- ⑥ 事業を通じた地域内での経済循環・雇用の創出

○導入予定の設備等のイメージ

【導入する設備】

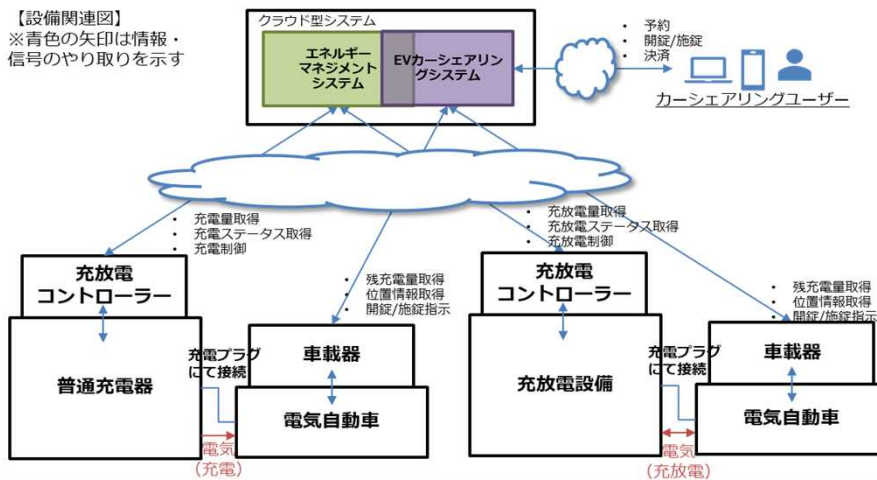
電気自動車：100台、車載器：100台、充放電コントローラー：100台、普通充電器および充放電設備：100台

【製作するシステム】

EVカーシェアリングシステム、エネルギーマネジメントシステム
※上記の内、エネルギーマネジメントシステムに関しては本補助事業補助対象外で製作したものを用いる

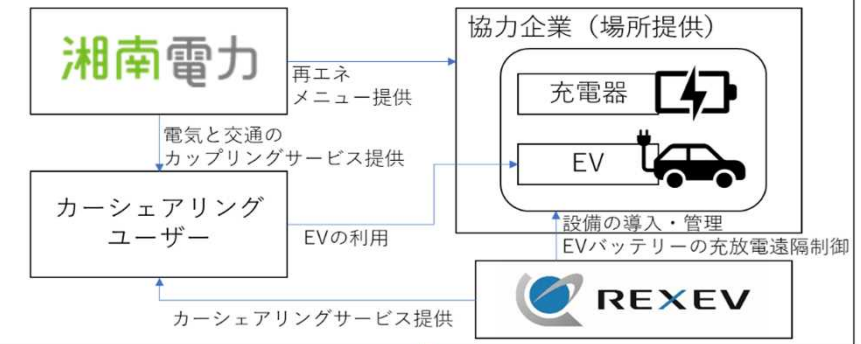
【設備関連図】

※青色の矢印は情報・信号のやり取りを示す



○事業の実施体制

脱炭素型地域交通モデル構築事業



協力企業：地域内の法人、小売店、ホテル等を予定
カーシェアリングユーザー：地域内の法人、個人および観光客を予定